「東日本大震災」災害支援だより

創刊第1号　2011 年 4 月 30 日発行

全国移動ネット災害支援の会　〒156-0055 東京都世田谷区船橋 1－1－2　山崎ビル 204 号

◆問合せ先◆
全国移動ネット
TEL03-3706-0626
E-Mail
info@zenkoku-ido.net

刻々と変化する被災地の状況。その中で、現在、多くの方が支援のために奔走しています。「１号」では支援活動を行っている方々の活動を中心に抜粋してお伝えします。友を想い、知人を想い、お会いしたことのない方々を想って、考えながら動いていくこと。今日ある自分に「ありがとう」と感謝しながら、復興をめざして一人ひとりができることを探っていきましょう。

巻 頭 言　いま、試される市民の力（災害支援の会プロジェクト　代表・柿久保浩次）■■■■■■■

今回の震災で被災された方々に心からお見舞いを申し上げます。震災当日から大変なことになったという思いが心を占めて、押しつぶされそうでした。

阪神大震災の時の経験は持っていても今回はそれを大きく上回っています。「これはいかん」と自分にできることを探し始め、関係者に声をかけて全国移動ネットの中に「災害支援の会プロジェクト」を発足させました。幸い被災地の当会の理事たちが無事で、また山本理事が東京から素早く被災地に足を運んで支援物資を届けてくれたことも、我々を元気づけてくれました。

しかし、１か月を経た今でも被災地や避難場所で多くの方々が「生活」とは言えない不自由な避難生活を強いられ苦しんでいます。我々一人ひとりができる小さなことを集めて、この人たちを支援することはできないでしょうか。今回の震災復旧は長期に渡ると言われていますが、この国の制度や支援体制を十分に機能させてこの方々を救えないでしょうか。

市民の力が試されています。被災した方々に寄り添って考え、支援していきたい。

●全国移動ネットの活動（2011年4月17日現在）●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

全国移動ネットは、移動困難な方を対象に被災地や避難先で、以下のような取り組みを行います。

【役割と体制】

1）プロジェクトの設置

理事会
↓--------企画委員会（＝理事長）
災害支援の会プロジェクト
・代　表：柿久保理事
・構成員：（被災地域および周辺の理事）
　　山本、荻野
・事　務：鬼塚

2）組織内外で相互に情報交換・分担・協力する

全国移動ネット(理事・会員)-----個々の事業者
↓　　↓
地域ネットワーク　他の災害支援ﾈｯﾄﾜｰｸ

【具体的な活動（予定を含む）】

1）募金（活動資金確保）とお見舞い
2）情報収集と発信（支援だより発行、メーリングリスト、マスコミへの発信）
3）各省、議員へ被災者に対する移動支援の体制整備の働きかけ（JCN：東日本大震災支援全国ネットワークを通しての要望提出、等）
4）直接支援（被災地、避難場所での移動支援、等）
5）相談とネットワーキング（相談窓口の開設、他団体からの協力呼びかけ対応・連携）
6）復興支援（検討中）

●活動報告

被災地へ向けて・支援報告

【東京⇒宮城へ】

●「宮城で見えてきたこと」（移動サポート／山本　憲司）

１．活動概要（３月 25、26、27 日）

25 日 移動サービスネットワークみやぎ・菅原さんと「CIL たすけっと」ほかを訪問。長町にある事務所に行く。「CIL たすけっと」では被災した障がい者向けに、全国から集まった救援物資を渡す活動を地震の翌週から行っている。「CIL たすけっと」の車両は緊急車両の許可をとっているので、ガソリンは問題なし。その後、山元町（仙台から南に 30km）に行き、「ささえ愛山元」の状況を確認。

ガソリン缶（岡山県・横山理事提供）

26 日 仙台市のボランティアセンターに登録し、仙台市宮城野区蒲生地区（仙台港から数百 m）で津波の被害にあった家のかたづけを手伝い。仙台市がボランティアの受け入れを上手く行っているのが印象的だった。

27 日 気仙沼市本吉町の避難所（小泉中学校）でシャワーを提供している通称「ひまわりおじさん」にガソリンを届ける。その後、気仙沼市の社協、市役所を訪問。

道路・ガソリン・食料事情 道路・ガソリン事情は 1 週間前と変わらず、かえって悪化したところも。車の交通量は格段に増えている。高速道を一般車が通れるようになり、被災者の親族などが被災地に来ていることや、通勤等の通行が復活しているためか？　ガソリンスタンドはあいかわらず長い列。営業していない店も多い。高速道のガソリンスタンドも混んでいて、給油目的で高速道に来ている車も多い模様。

街中や SA では「緊急車両のみ給油可」としているスタンドはあるが（高速道の再開後は緊急車両の許可を出さなくなったため）、許可を受けている車両以外は給油が受けられない。また高速料金について、宮城県警ではボランティアの車両は免除すると発表。具体的な方法は不明。

食料事情は、仙台では一部地域（長町地区）のスーパーで商品が増え始め、飲食店も営業を再開しているところが増えた。ちなみに気仙沼など被害が大きい地域では食事の確保は困難。

２．今後の課題

動き方の検討 仙台市内や一部の地域のように、移動ネットみやぎの関係団体などが移動サービスを行っている地域では、地元団体のサポートができると良い。行っていない地域では、取り組み方、ニーズ、運行などを整理する必要があるように思う。

問題点 **1)移動サービスの周知**：移動サービスを利用していなかった・知らなかった人や、市や社協等の支援者に理解してもらう必要がある。**２）地元団体や全国移動ネットの PR**：「何者か？　何が出来るか？」を示す必要がある。**３）活動者の明確化**：実際に運行となった時の運転者も含めて「誰が来たのか？」示す必要がある（仙台でボランティアをした際は専用のシールワッペンを渡され、名前を書いて胸に貼っていた）。

＊

移動支援へのニーズに対応したいと思うが、具体的な動きに結びついていないのが現状。そろそろどこかで具体的な動きをしなければ（たとえば、移動サービスについて利用者に知っていただくためのチラシをまいてくること）と、考えている。

【つながる支援者たち……札幌・石巻・横浜　ともに支え合って】

●「心のケアを手伝いたい」（移動サービスネットワークみやぎ／伊藤　寿朗）

○私は石巻に住んでいて、幸いにも被災を免れた。そして、横浜から石巻まで応援に来る方々がいることを知って、元気づけられた。初級産業カウンセラーの資格を持っているので「“心のケア”の一部でもお手伝いできれば」と思う。高齢者に対しては、男女を問わず話をお聞きすることができるのでは？と思っている。

〇４月９日：ホップの石巻事務所へ陣中見舞いに行き、駐車場（普通車４、５台）とプレハブ２棟（パソコン教室 12 畳と図書室 16 畳）の利用をオファーしたところ、「プレハブをスタッフの宿泊または作業所として利用できないか」とのこと。即、「どうぞ！」と返答した。

●「札幌と三陸を行き来して」（あてんど＆ホップ障害者地域生活支援センター／竹田　保）●●●●●●●●●●●

〇４月 10 日：石巻拠点では災害ボランティア移送チームとして活動している。まだニーズはまばらで、他のチームはテント暮らしか車中泊をしながら泥だしに精を出しているが、移送チームは比較的恵まれている。移動ネットみやぎ・伊藤さんのお申し出には「感謝！」だ。

〇４月 11 日：石巻の現地担当者から連絡があり、14 日に石巻⇔山形間の 14 名の送迎を依頼された。５月からは北海道の団体が輪番で、1 週間交代で派遣することで調整。また、相談職の人員を月に 1 回派遣して「よろづ相談会」を催す準備をしているところ。14 日から岩手に入る予定だが、岩手は北海道の担当県らしいのでニーズを確認しようと思う。

●「“つながり”でトラブル回避」（横浜移動サービス協議会／山野上　啓子）●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

〇４月 12 日：第３便が石巻入りしたが、手違いで１車両３ドライバーが路頭に迷った。「必要としているところへの派遣とボランティアの安全確認と宿泊場所確保の調整をするまで待って」という現地の世話人からの連絡が届いていなかったのだ！　トラブルは福島を通り過ぎる頃に露呈…事務局長の伊藤（み）さんから伊藤寿朗さんのお電話番号を聞き、ドライバー達の受入をお願いできた！　ありがとうございます！

〇４月 13 日：現場の人たちは目の前の活動と調整、遠隔地との調整や情報提供が大変だ。伊藤さんに電話をしたら、「カセットコンロで野菜炒めを作っている！」と賑やかな様子が伺えた。

気仙沼への移動も考えているが、しばらくは伊藤さんのところを拠点とさせて頂き、山間の要介護指定避難所「遊楽館」で活動しているチームと連携しながら、市内の障がい者の情況を調べたい。

被災地から～メッセージ、現地報告

【from 仙台】●「活動への支援要請を」（移動サービスネットワークみやぎ／菅原　ふじ子）●●●●●●●

いま、全国の仲間たちは移動等の支援に動き始めています。 また、支援している方たちの支援をしている仲間がいます。

石巻で活動している人たちへ活動拠点としてプレハブを提供している伊藤（寿）さんや、山口県、関西、東京から仙台に入って活動している全国移動ネットの仲間たち。私の知り合いから空室の提供があり、そこを拠点として動いていただける環境も整えつつあります。

しかし、災害ボラセンや市町村などに聞いても移動のニーズが見えてきていない、あるいは届いていないのも現実。そこで、実際に宮城で活動している団体への支援も視野に入れ始めています。

移動の手伝いはもちろんのこと、荷物運びなどで手が足りず、手伝って欲しいことがありましたら何なりと言ってください。ぜひ、自分たちの活動の支援を要請してください。全国の移動ネットの仲間たちに繋ぎます。

【from 北茨城】●「北茨城震災情報番外編」（ウィラブ北茨城／高松　志津夫）●●●●●●●●●●●●●●

４月８日、茨城 NPO センター事務局長と牛久市の障害者支援系 NPO「大空」メンバー4 名とで、いわき市の情報収集に行った。はじめに訪ねたのは「うつくしま NPO ネットワーク」（本部・郡山）。いわき市公営の工業団地内印刷会社倉庫に本部機構を移しており、全国からの物資をストック、避難所及び個人宅などに配達を行っている。福島県やいわき市の社協とは別の展開だ。次にいわき自立生活支援センターを訪ね、意見交換をした。政府の発表ではなく、専門家を頼んで独自の情報で放射線量などを計測しているそうで、「避難区域が

拡大するとわかってから動いたのでは、パニックに巻き込まれて身動きが取れない」とのこと。利用者及びその家族、スタッフ及びその家族等全員が、「放射能レベルが危険域を超えると同時に東京に避難できるように準備している」という話が印象的だった。

ご紹介したいのは、いわき市植田町に本部を置く民間ボラセン「いわき市勿来地区ボランティアセンター」だ。民間ボラセンの活気・目の輝きは違うと感じて、見ていたこちらも意を強くした。

今後は当会も、北茨城市の避難所から公営団体に移った被災家族の支援と同時に、隣のいわき市の支援に可能なかぎり関わっていきたい。

●Topics！　Topics♪●●●●●●●●●●●

◆JCN（東日本大震災支援全国ネットワーク）会議開催

４月７日（木)、「震災ボランティア・NPO 等と各省庁との定例連絡会議（第１回)」が開催された。出席者は 160 名、JCN 代表はあいさつで「今回の震災は、“複合化”かつ“深刻”で“長期化”することから、官民共同の支援が必要である」とアピールした。全国移動ネットは、被災者の送迎支援のために NPO の発地着地や登録会員の制限緩和と送迎のガソリン代等の公的支援を要望した。なお国土交通省の渋谷課長は、全国移動ネットの要望に対して、「移動のことは現地の状況を確認しながら進めたい」と発言した。　　（ハンディキャブを走らせる会　鬼塚）

◆大阪から福祉車両２台ー仙台行き決まる！

４月 19 日（火）～22 日（金)、大阪から４名（柿久保、橋本、奥田、遠藤)、東京から１名（鬼塚）のメンバーが宮城へ福祉車両２台を届けることが決まった。他には発電機やシャワーチェアー、車イス、おむつシートなど、できるかぎりの荷物を積んで仙台市の「CIL たすけっと」へ届ける。

（アクティブネットワーク　遠藤）

◆被災者と温泉に行こう！

山形県体育館に避難している人々を、山形市西部にある百目鬼（どめき）温泉に週２回送迎している。

利用者は平均５～６人おり、軽の電気自動車だけでは対応できないため、ドライバーにマイカーを提供してもらっている状況だ。

（やまがた福祉移動サービスネットワーク　齋藤）

●今後の活動予定 ●●●●●●●●●●●●●

現在の活動に加えて以下のような活動を予定しています。

◇日本財団「東北地方太平洋沖地震　災害にかかる支援活動助成」に申請。

◇関係団体の協力意向調査（「協力意向問合せ」を 4/13 に配信済み)。被災地のニーズを収集する。被災地入りのための震災特約つき保険に加入。

◇相談窓口の開設⇒相談を受けるための携帯電話を契約、ほか。

●募金活動　●●●●●●●●●●●●●●●●●

いつも全国移動ネット災害支援の会をご支援くださり、ありがとうございます。

◆ご報告：

◇御礼：以下の方々からご寄附をいただきました。この場をお借りして心より御礼申し上げます。

お名前　　**（敬称略。順不同）**

移動サービスアクセス、移動ネットおかやま、
かながわ福祉移動サービスネットワーク、関西 STS 連絡会、
埼玉県移送サービス、地域教育福祉会・花さき山、
中原たすけあいの会、日常生活支援ネットワーク、
陽だまり、まごころサービス塩釜センター、
泉学園パンフルート、乾医院、石黒まきこ、井元和美、
鬼塚正徳、澤田広美、島津淳、菅原ふじ子、関義信、高山弥、
貞包健一、豊永真知子、西井雄一、松本大、浦辻則子

◇金額（４月 20 日現在）

総計（郵振、みずほ銀行 現金）： 1,706,000 円

◇支援募金・主な振込先（４月 21 日現在)：第一弾として支援金を送金済みの団体は、以下の５団体です。

★特定非営利活動法人　ウィラブ北茨城
★秋田ボランティア協会
★特定非営利活動法人　移動サービスネットワークみやぎ
★やまがた福祉移動サービスネットワーク
★特定非営利活動法人　ささえ愛山元

◆支援募金のお願い：支援物資購入、出動団体やボランティアの経費、燃料代その他に大切に使わせていただきます。引き続き、ご協力をお願い申し上げます。

★お振込み先★

以下のいずれかに、ご送金くださいますようお願い致します。

郵便振替　**加入者名：ＮＰＯ法人全国移動ネット災害支援の会**
口座番号：００１９０－１－６２３４５９

銀行口座　**銀行名：みずほ銀行 千歳船橋支店（番号 154）**
預金種目：普通預金 口座番号 ２１１１７１９
口座名義：全国移動ネット災害支援の会

◆編集後記◆　被災した人のくらしの足として中古車の需要が急増しているというニュースを見た。移動が困難な人たちの「足」はどうなっているのだろう。しかし、役所やボラセンでは「困っていない」と言われることが多いという仲間の報告…移動のニーズは長く寄り添い、見る人が見てこそ、見えてくるものなのかもしれない。(み)